

フーダ

Printed on
R
Recycled Paper

(HUTAN)

森の通信

一部 **200**円

年会費 **2,000**円

郵便振替 大阪3-3880

SAVE OUR TROPICAL FORESTS

森と生活を考える会

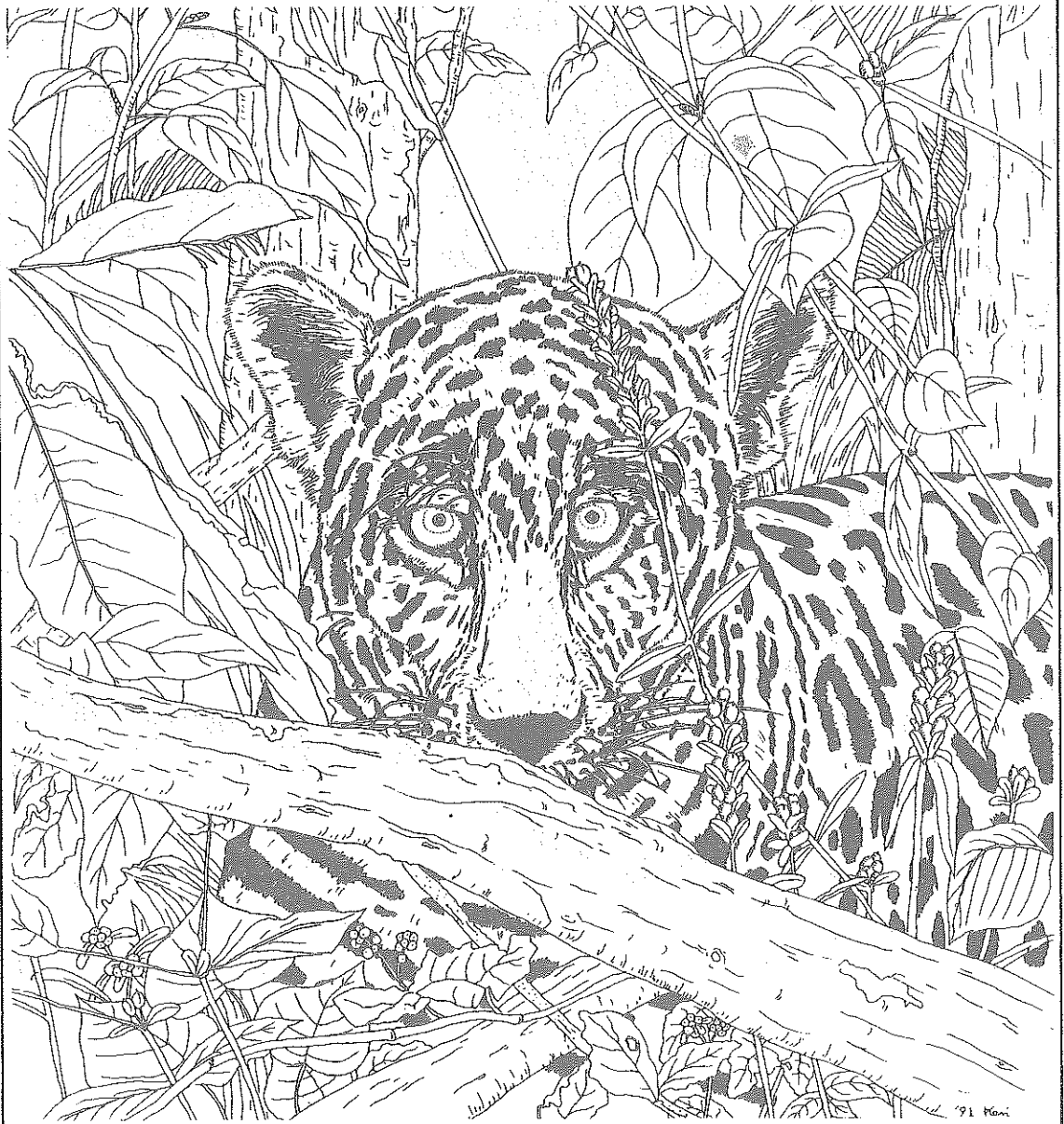
〒530/大阪市北区中崎西1-6-36 サクラビル新館#308

Tel.(06)372-1561「自然を返せ/関西市民連合」事務所気付

第 **22** 号

1991年12月20日 発行

'92 ^{FIGHT!} ^{Let's ACTION!} **ガンバレ! 熱帯林保護活動!!** ^増 ^{24ページ}



The jaguar in Amazon.

everybody 毎度 on The 熱帯林!

STAFF

STAFF 月号夜一吉

何でも

Kaori Akano

浅野がおり



ウータンに通うようになってから、なにかと自然に目が向くようになってきました。観察なんて全く興味なかったのに、今では、大の散歩をしながらでも、おいしい空気を吸い、鳥の声を聞き、「これは何の木だろう」なんて考えられるようになりました。

ある日、ふと、目についたのは、ある家の庭です。外から見えるにしても、まっちり囲ってるのが気になってしょうがないのです。「どうして、そんなに、自分の庭を囲ってしまうんだらう。みんなの庭にしたら、多くの人が楽しめるかもしれないのに」と思ったのです。

自分の庭のように、世界の自然のことも考えられればいろんな問題も、もつといい方向に行くんじゃないかと思えますが、世界の自然のことってまだまだ遠いものなのかもしれません。

でも、ウータンは、少しでも世界のことを身近に感じられて、そのために何かが出来ようなきっかけづくりをしているんですね。ビデオやスライドの貸し出し、メンバーの出前講座、他に、署名やハイキングなんかもやっていますが、さらにパワーアップする余地があると思うので、いいアイデアがあれば知らせて下さい。

ウータン活動経過

なんとかわかっちゃってます

- 9/9 世銀「今までに熱帯林四〇%消失」と報告
- 9/10 大阪市と交渉。市は「全コンパネ使用は二五万円。他の材質のものも検討したい。」
- 9/10 大阪府議幹事長に「熱帯林保全」を陳情依頼
- 9/13 「熱帯林保全に関する陳情」を府議会に提出
- 9/19 「ベジャライ」映画監督アオ氏が府で講演
- 9/22 「インドネシアの熱帯林」報告集会
- 10/5 映画「ベジャライ」泉大津市の南冥寺で上映
- 10/10 出前講座⑩ 沢木「主権在民の会」で。*西岡
- 10/12 出前講座⑪ 関西学生連絡会のシンポで。
- 10/12 出前講座⑫ パンダクラブで。*井下
- 10/19 第二回世界熱帯林週間始まる。京都JEE集会「高層ビルより熱帯林」で西岡が報告
- 10/20 ウータン集会「熱帯林が消える」―私達に出来ることは?―講演*黒田洋一氏
- 10/23 出前講座⑬ 京都・ラクダの会で。*西岡
- 10/26 出前講座⑭ 大谷女子大で永田、浅野が講演
- 10/26 J A T A N「コンパネを考える」シンポに参加。林野、建設省等コンパネの取組み報告
- 10/27 熱帯林全国会議・調整会に参加。*西岡
- 10/29 出前講座⑮ 天理大で、永田が講演
- 11/1 森と緑を守る全国会議に参加
- 11/20 府、大阪市、豊中、堺市等へ「要望書」提出
- 11/24 ハイキングと合宿、大和葛城山で。

第22号

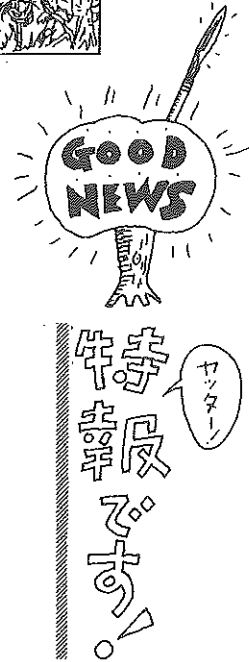
もくじ

HUTAN

- 24 — ウータン活動報告・スタッフレポート
- 23 — ウータンニュース・情報④
- 22 — 大阪自治体キョーベン・報告⑤
- 21 — 府に出した「要望書」
- 20 — 熱帯林週刊・大阪集金のコト
- 19 — コンパネ講座②「ロコエ法」でベジャライ
- 18 — 「IETO」理事長会」終わる
- 17 — ウータンニュース②
- 16 — レイテ島の学難「救済」へのオメガ
- 15 — 「全国熱帯林保護ネットワーク」
- 14 — 日本の森から「鹿野から」④中村義明
- 13 — 「寄稿」今年の夏は、いろいろ考えました
- 12 — リポート「熱帯林と高校生」西和孝
- 11 — 「タスマニアの森が危ない」世界の森
- 10 — 企業納入された方紹介
- 9 — お便利コーナー
- 8 — ネットワーク④「熱帯林保護団体
- 7 — ウータンアワード・ギャラリー④
- 6 — ストリート・編集後記、お知らせ
- 5 —
- 4 —
- 3 —
- 2 —
- 1 —

※表紙のイラストは、岡野吉晴さんの「ウータン」
 写し直したもので、色紙がきれいになりました。

HUTAN NEWS



「熱帯木材使わずに」

田無市「環境」巡り請願採択

地球環境の破壊など問題になっている熱帯木材に関し、田無市議会総務委員会は十八日、市発注の工事などで使用しないことを求めた住民請願を議員賛成で採択した。

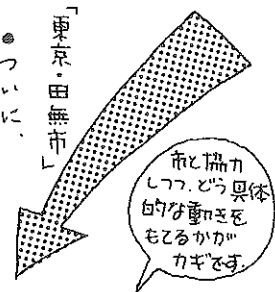
この問題では、日本の輸入で特にマレーシア・サラワク地方の原生林が全滅の危機にひんしているとして、市民グループが「サラワク・キャンペーン委員会」(渋谷区藤倉町)を作り、田無市では生活クラブ生協田無支部が七月から六百十人の署名を集め、市議会にも請願した。「熱帯木材

熱帯木材使わないで!

田無市議会委員会は、市が発注する建設、土木工事でマレーシアのサラワク材の使用停止を求め、熱帯木材を使わない住宅づくりをするよう国に意見書を提出する。熱帯材の保護の大切さ、熱帯材の不使用、保護団体への参加など市民ができることに関する情報を提供する。この3点を求めている。

東京都田無市議会の総務委員会は18日、熱帯木材の不使用を求める請願を採択した。請願を提出した生活クラブ生協田無支部(中島多子委員長)によると、この種の請願が採択されたのは、全国の地方議会で初めてという。請願は、生活クラブ生協田無支部から出された。

(11/19 朝日・東京)



「東京・田無市」

● ついに、全国初めての1つの自治体の議会が「熱帯材の使用を求め、請願を満場一致で採択した。まずはヨクタン」

(毎日・11/19)

は市内の公共事業でも使用される」と予想。市の使用停止と、世論喚起のための情報提供など、キャンペーン委員会の要求のほか、独自項目として国への意見書提出を求めた。九月市議会では継続審査になったが、この日採択された。十二月市議会の本会議でも採択の見通しで、請願は執行部に送られる。市の場合は普通、工事を発注した後、業者まかせになる。材料選定の段階で、チェックできるかどうかは、この問題があり、市の対応が課題となっている。

公共事業の熱帯木材使用「停止」請願を採択

田無市

建設事業でも使用される」と予想。市発注の工事での使用停止と、世論喚起のための情報提供、国への意見書提出を求めた。九月市議会では継続審査になったが、この日の本会議で、「使用停止」に関して「直ちに実現することは困難だが、趣旨に沿うよう努力されたい」との付帯意見をつけ、満場一致で採択された。

マレーシア・サラワク地方の原生林が日本の輸入で全滅の危機にひんしているとして、東京都田無市の住民が公共事業などでの熱帯木材の使用停止を求めた請願が十日、同市議会本会議で採択された。

全国の自治体相手に運動を展開している市民グループ「サラワク・キャンペーン委員会」(東京都渋谷区)によると、同種請願の採択は全国で初めてという。

生活クラブ生協田無支部が六百十人の署名を集め、請願していた。「熱帯木材は市内の学校、地区会館の

(12/11 朝日・東京)

good!
熱帯林保護策、名古屋市でも!
ZAKAYA

★もう一つ、グッドニュースを、12月の木材新聞によると、「名古屋市が熱帯林保護の立場から、ラワン合板の使用を減らし、代替として針葉樹を使用した複合合板の採用をすすめるために、愛知県建設業協会、名古屋建設業協会、東海地区型枠工事協同組合、中日本合板工業組合の田無市に「熱帯材の使用削減に向けての建設局の当面の方針」を文書を送付した。」という記事が「出ました。」

内容は、建設局の発注する工事について中針複合合板を採用するよう関係団体に働きかけ、設計段階から型枠合板の使用削減を配慮するといったものである。又名古屋市は行政側の取り組みも市内の関係部署を研究し、拡大していく方針であるとしている。

熱帯木材不使用にむけての自治体キャンペーン経過



5

事務局長

西岡 良夫

Yoshio Nishioaka

今年に來日したウマバワン村の人々、マレーシア・地球の友の人々は、全国各地の新聞等で取りあげられ、自治体キャンペーンの注目となりました。ウータンは、六月六日のサラワク女性と中川府知事の会見以降、大阪市との交渉、大阪府議会への働きかけなどを行いました。現在、東京、名古屋、静岡、広島、松山、熊本、埼玉、新潟、京都、奈良などの熱帯林保護グループが自治体キャンペーンを行っています。

一、大阪市

六月、突然大阪市へ手紙が届けられた。「熱帯産の木材の消費を減らせば地球環境への脅威がやわらぐ。われわれは市の公共事業に熱帯木材を使わないようにする条例を定めた。貴大阪市も条例を作るようお勧めする」と。姉妹都市のサンフランシスコ市長アグノス氏からだ。驚いた。私達も大阪に質問を出すことを決めた。「質問内容は下記」

九月一〇日に市の都市整備局営繕部、環境保健部、建設局などと交渉。

質問(一)(三)には、「広く市民に知ってもらうためにビデオやパンフを作っている。(注*パンフで破壊の主因は焼畑と誤っている!)熱帯林の重要性を認識

している。コンパネの利用については、他の材質の開発、PC(プレキャスト)現場打ち込み、合板の転用回数増加を検討。しかし、一、二社だけの開発では発注者の立場として難しい。」また「コンパネの使用回数については、当市の転用回数は四回が基準。質問(二)の使用量は都市整備局が三四万枚、全体で一二五万枚。(四)についてはサンフランシスコ市に八月中旬に発送です」と。

大阪は前回の交渉時より研究している。だが来年、国連環境機関UNEPの建物を誘致するのに、大阪はモデルに熱帯材不使用を考えていない。今まで低コストの熱帯材を使ってこれだが、環境

を守るために多少コスト高でも別のものを使うという考えが今、大阪に求められる。

公開質問状

西尾 大阪市長殿

1. 貴市は、熱帯林の破壊を防ぐため、具体的にどのような取り組みをお教えてください。
2. 公共事業の際に、貴市はどれだけのコンパネを使用されましたか。また、コンパネ等熱帯材使用削減に向けて使用法を検討する」とお答えです。具体的にどのような施策か、御提案を教えてください。
3. 東京都では、8月頃に「熱帯木材削減計画」をまとめるというご方針で「コンパネ等熱帯材使用削減に向けて使用法を検討する」とお答えです。具体的にどのような施策か、御提案を教えてください。また、貴市はどのようにお答えされましたか。お答え下さい。

1991年8月1日

ウータン・森と生活を考える会

二、大阪府議会・大阪府

サラワク女性と府知事との会見に公明党府議団が助力があり、又六月に府議会は「地球環境問題調査特別委員会」を設置した。私達は福岡市議会と同じような「熱帯林保全意見書」と熱帯材使用削減策を府議会へ九月一三日に『陳情』した。それを根回ししたつもりだったが、「特別委員会が出来たばかりで」という理由により今回は見送られた。大阪府との自治体交渉を少し止めていたので、私達は府交渉を再会し、府議会でも「熱帯林保護政策」を求める考えだ。

三、中央官庁、東京都、業界等の動き

建設省は「地球環境専門部会・型枠部門」を設けて、熱帯木材削減策を進めだし、林野庁も熱帯木材のコンパネ削減計画を進めている。

この十月二六日、『コンパネを考える』シンポがJATAN主催で開かれた。建設省の亀井氏は「熱帯木材輸入量は年間約二千万㎡、コンパネ消費量は二〇%。これからの方策として①転用回数増、

②塗装の合板、針葉樹合板、PC工法、

③*

③再生可能な木材または木材以外のもの。実行する時に発注者は環境保全のため若干のコスト高は認識すべき」と説明。

林野庁も建設省とほぼ同案と説明があり「①反復利用できる製品の開発、②コスト高の理解、③使用後のチップ化などでの有効利用」をあげた。

業界の大林組からの発言は「今年同社の調査では、複合合板―例えば針葉樹合板はほとんど工事に支障なく、コストアップは五%程度と予測され、五年間で多様な工法の組合せで熱帯材使用を三〇%使用削減できる」と。

建築家の林昭男氏や増田一真氏は「大量生産、大量消費が悪い。長持ちする建築物を作るべきであり、商業主義的設計を改めること。例えばPC現場打込み工法では熱帯木材の有効利用ができる。」

また東京都は自治体として始めて熱帯木材削減案を十月一八日に発表した事は評価できるけれど、内容はコンパネ不使用にふれておらず、具体的目標や予算が明らかにされていない点が問題だ。

ヨーロッパではほとんどが現場PC工

法で熱帯木材の使用が少ないが、日本は熱帯木材消費世界一であるのに政策が貧困といえる。今、必要なことは余計な建物を作らない、建物を壊さないということ、環境を守り新たな建物を作るには本来コスト高になって当然という認識が必要ではないだろうか。まず、自治体は率先して環境を大切にすることを知らせて、実践する事が迫られている。このままでは熱帯材は三〇年ぐらいでなくなってしまう！！

四、地域から自治体に働きかけよう！

ITTO(世界熱帯木材機関)の報告でも熱帯材は、再生可能で生産される皆無です。学者は「三〇%伐採削減の勧告ではダメ。八五%―八八%の削減が必要」との見解だ。今も伐採で危機になったプラン人達が道路封鎖しているのです。

これらを聞いてウータンは、大阪府、大阪市、豊中、堺、門真、八尾市などと交渉する予定。地域からも声を上げましょう！！

▼ 各自治体などに出す要望書です。あなにもやってみては!

熱帯林保護についての要望書

様

今年の国連食糧農業機関（FAO）の発表によれば、世界中の熱帯林は伐採等で毎年1700万ヘクタールも破壊され、生態系を脅かされた森を含めると2000万ヘクタールが消失しています。これは日本の面積の半分に相当する熱帯林が壊されているのです。

現在のままで熱帯林の破壊が進めば、日本の最大輸入先であるマレーシア・サラワク州の森も、あと十年たらずでフィリピンやインドネシアと同様に消滅します。熱帯林の破壊は、そこに住む先住民と生物の生存の危機に繋がり、また気象の変化や温暖化など地球に悪影響をもたらします。

この状態を考えて、欧米の多くの自治体では、いろんな所で熱帯木材の不使用の政策を講じています。オランダでは6割以上の自治体が、ドイツでは132の自治体が、イギリスでは37の自治体が、アメリカではサン・フランシスコ、ニューヨーク市などを始め熱帯木材の不使用条例や大幅な削減施策が作られています。また、ECでも熱帯木材の削減決議がなされています。しかし、世界一の熱帯木材輸入国である日本では、熱帯林保護政策や木材削減政策は皆無の状態であり、これでは世界からますます批判が高まります。

一年前から始めた日本の熱帯林保護団体の自治体への働きかけによって、建設省は「地球環境専門部会・型枠部門」を設けて熱帯木材削減を進めだし、林野庁も大手ゼネコン等と相談して使用削減計画を検討しています。また、東京都は「地球環境問題連絡会議」を設け、この十月十八日、発注工事については熱帯木材の使用削減政策を不十分ながらも決めました。しかし、貴自治体は、熱帯林保護・熱帯木材削減について何ら具体的な政策を打ち出していません。熱帯林と地球環境を守るために、私達は貴自治体に対し、以下のとおりの早急な政策作りを要請いたします。

1. 直ちに地球環境問題部会と熱帯木材削減計画検討部門を設けること。
2. 公共事業に使用している熱帯木材の使用量を調査し、来年の使用計画について削減の方策を講じること。
3. 当面のコンクリート型枠合板（コンパネ）について
 - ①型枠合板については、まず反復利用出来るような計画を作ること。
 - ②止むをえず当面コンパネを使用する場合は、a) 耐久性の高い塗装合板等の使用を検討する。b) 熱帯木材以外の再生可能な木材の使用を検討する。c) 型枠不要の工・構法（例えば現場プレキャスト工法など）を検討する。d) コンパネを使用するときは、ゴミのリサイクル計画と同様のコンパネ・リサイクル計画やチップ化利用を検討すること。
4. 家具等へ利用された熱帯木材は約30%であり、机や建具、タンスなどのリサイクル・パザーを率先して取り組むこと。
5. 庁内で使用している再生紙のリサイクルを行うこと。
6. これらに必要な予算措置を講じること。

1991年11月

ウータン・森と生活を考える会 事務局長・西岡良夫

↑
このように 適当な団体名をつけて入れるとOK!!

・10月19日〜26日 第2回世界熱帯林園向終わる。

Osaka 集

『熱帯林が消える』

を聞きました。

始まりは、熱帯林のスライド。清水一平さんのカリビバ（アマリカの楽器）演奏。したたる緑。鮮やかな紅が、カリビバの音とともに心にしみいる。黒田洋一さんのお話。あふれる知識の奔流は、めまぐるしく活動を続ける黒田さんそのものようだ。風邪をおしての大熱弁。（その上、通訳にまで黒田氏をコキ使うウータンはコワイ）

続いて公見のアピール。山ほど署名を集めてくれた、中学生の馬場さん。ニュージーランドの森の危機を訴えるサリ・スライ・ブズさん。元気印の大西弁護士の自治体交渉の様子。

大谷女子大学での集会のアピールもありました。
お楽しみ、「熱帯林サバイバルクイズ!!」では、「フタバガキは柿の一種?」「びんこヒツカケに販売続出。勝ち残りた人は、黒田氏のサイン入り箸書が手渡されました。

最後に、サラワクのスライドと清水一平さんのギター演奏。美しいエンディングでした。

バンドクラブの出前講座をきいて参加してくれた人、ピラをみてきてくれた大阪府議の人、初めこの顔がたくさんあってうれしかった。(井下)

*無償で演奏をしていただいた清水一平さんにこの場をかりておれを申します。



(ウータン一回)

POWER

『学生がパル』

・大学祭を終えて……

大谷女子大学・解放教育研究会 富田通子さん

先日は、大学祭の講演ありがとうございました。今回、私達のクラブで初めて環境問題を取り上げて企画しましたが、単に環境の事だけでなく、人権やあらゆる問題に波及しているということがよくわかりました。これから身近なところから(クラブ内から)できることを始めていきたいと思えます。

京都産業大学 平井一樹

前略 写真パネルを貸していただきありがとうございました。今回は私たちのクラブにとって初めての学園祭での展示ということで、森林破壊の他にもオゾン層、酸性雨、温暖化、野生

動物、ゴミ問題、家庭排水等を様々な形で取り挙げました。期間中、約2500人の人たちが私たちの教室を訪れ熱心に(いく人かは唯ながめただけ)見ていってくれました。

熱帯林についても、一体何が起きているのかという程度ではありませんが、かなりの人たちに知ってもらえることが出来たように思えます。

最終回の審査の結果、展示発表部門の最優秀賞を獲得することができ、部員一同喜んでいきます。

今後も機会あるごとに熱帯林の問題を提起していければと考えています。 91年11月4日

*富田さん、平井さん、みなさんごきげんよう。お話をきいてくださる方々、ありがとうございました。

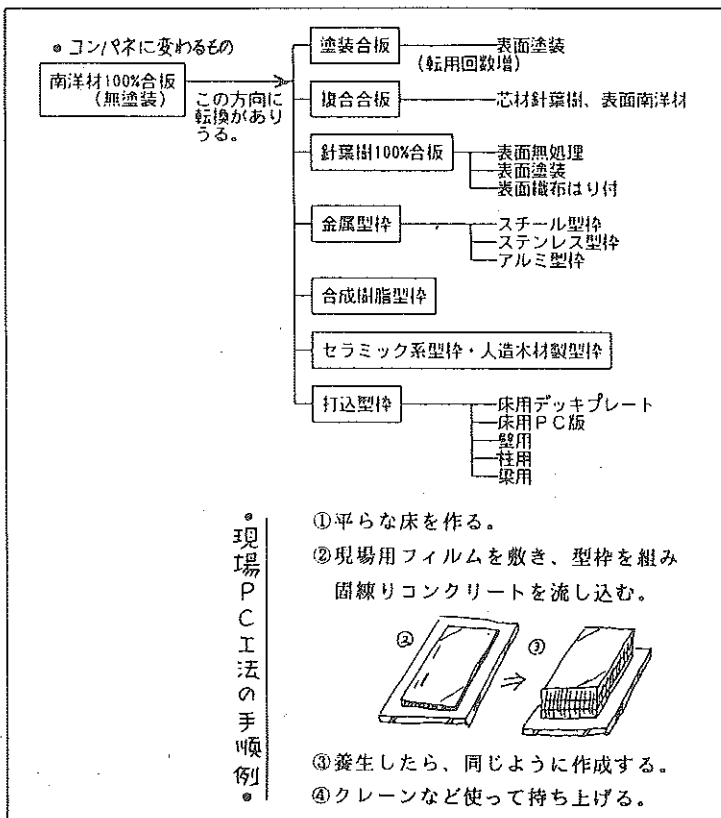
型枠 PC工法で何や???

コンクリート・パネル(コンパネ)は、戦後の高度経済成長期から住宅ブームで大量に消費され初めました。昔は二〇回ほど使用されてきました。熱帯材は安いので多く使用され、今は木材の置場が土地の高騰で減って、そのうえ労賃が高くて付着したセメントを落さずに捨てられています。通産省によると、加工なしのコンパネの廃棄率は二・六回、表面加工ですら約五回で廃棄。全く資源の浪費！ それに変わるものは下図のがあります。

今注目はPC(プレキャスト)現場打ち工法です。PC工法とは、個々の部材など(柱、梁、壁、床など)を後で組み立てるコンクリート打設工法で、打込み式、工場式、現場式があります。

現場PC工法は狭い土地でも建てるスペースがあれば可能です。なお広い土地ならそこで各部を運んで作れます。各部をジョイントする手間がかかりますが、コンパネをほとんど使用せず、解体や移転が簡単。建築家の増田一真氏によると、「三・六m×七・二mの壁を作るのに普通では三二枚必要ですが、現場PC工法は二・六枚です。しかも水とセメントの割合いを四〇%にすると(普通は五〇―六〇%)九千年長持ちだ」そうです。それも大理石までいかなくても大変強度になるとのこと。

また各部、各ユニットを工場で作り、運ぶ工場式PCは、品質が高く生産性も高いが、費用が高くなるそうです。まだPC工法の例が少ないので、多少費用は高くなる模様です。熱帯材の量を減らす為の針葉樹合板もまたソ連、カナダ等で環境問題をひき起し、もし新築するなら(できるだけ止めて！大量生産反対―影の声)現場PCがお奨めです。熱帯木材がなくなってしまう怖れがあるので、熱帯材を守る発想の転換と技術が必要といえるでしょう。 [文責・YN]





◆先住民の声届かずITTO(国際熱帯木材機関)理事会閉幕◆

森林破壊防止遠く

全国の熱帯林保護グループの活躍による自治体キャンペーンの広がりの中で今年もITTO理事会(今年で第11回目)が開催され、12月4日に閉幕しました。2000年までに、森林破壊を

招かないように森林管理が行われている場所から出た木材だけを貿易で扱う、とする目標に向けて、議論がこれによんだが、伐採による熱帯林の環境破壊、野生生物や先住民の非常事態を本日に解決しようとは思えず、我が可愛いこの木材貿易がどうすれば生き残れるかを探った合議であった。

サラワク州政府は12/4の新聞記事でもあきらかにように伐採量を93年までに300万m³減らすとしているが、仮に300万m³の木材生産削減があったとしてもどのよう

に実施するかの具体案が全く示さ

熱帯林の伐採量
4分の1を削減
マレーシア・サラワク州

世界最大の熱帯木材輸出地であるマレーシア・サラワク州(ボルネオ島)は、今後二年間のうちに生産林からの現行伐採量の四分の一を削減することを、横浜市で開催中の国際熱帯木材機関(ITTO、四十八カ国・地域)の第十一回理事会で三日までに発表した。

声明によると、永久に森林伐採地として利用することが定められている同州の生産林は六百万畝。削減計画では九二年と九三年の各年で生産林からの伐採量を百五十万立方メートル減らし、現在の千二百五十万立方メートルを九百五十万立方メートルで下げるといふ。

▲12/4 一見目

一見目... (不明)

れていない。又、今回もサラワクから来日した先住民代表トーマス・ジャロン氏らの非痛な声(先住民の土地に因する権利、伐採によるあらゆる環境破壊、不法伐採、伐採権継給の不正など)を全く無視したものであった。

サラワク州の伐採量は、91年1880万m³でこれはITTOのサラワクレポート(90年)が使った88年の伐採量1300万m³に比べ45%もの増加である。適切な森林管理を達成するというITTO報告書の削減目標にある920万m³にしても、実際には永久林から400万m³位が限度で(米、全米野生生物連盟)サラワク州政府計画通りでも「持続可能な木材生産量」よりは2倍以上多いのです。事は数字の問題ではありません。(私たちはよく数字にだまされる)どんなに伐採量を減らしても、そのやり方がひどければ破壊的であることに変わりないのです。一方、日本政府に至っては、サラワク州政府を全面的に指示、資金援助その他をさらに進めると言っています。

日本は熱帯木材最大輸入国として「熱帯木材三原則」を表明、①木材貿易のモニタリング、②消費の適正化、③熱帯諸国の木材加工向上の促進というもの。①は林野庁と木材輸入業界との向を秘密に行なわれており一切公表されない。又その結果に見合う規制などの措置も全く明らかになっていません。②はいかにも日本らしい言い回しだ。サラワクの伐採量、輸出量削減に呼応し、木材輸入業界はラワン合板生産30%削減を行うとしているものの、その歩みはカメよりもろく具体的な措置もまわめてあまいである。ITTOとその参加国は環境保護を謳ながらも、奥ではいかに自らの生き残りを探ったことを改めて、明らかにした理事会であった。(永田)

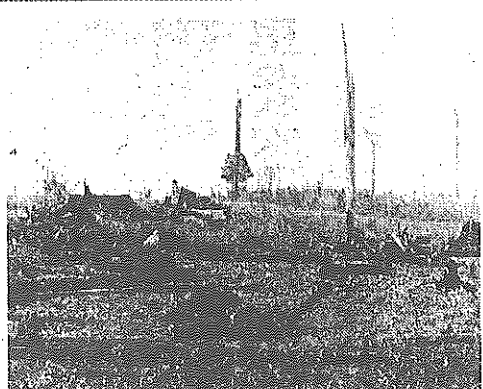
地球規模で進む環境破壊を象徴する熱帯林の減少問題に関して、東京都田無市議会はこのほど、公共工事に熱帯木材を使用しないよう求めた市民の請願を、採択した。欧米ではこの数年、罰則規定を設けた熱帯木材の不使用条例が相次いで制定されている。しかし、日本では自治体の熱帯林保全の取り組みが遅れ、法的拘束力の弱い請願ですら認められたのは今回が初めて。保全運動は法律家や建築家にまで広がりをみせる一方で、自治体の腰は重く、市民グループは「全国のおどろきの自治体は依然、対応が鈍い」と指摘している。（社会部・野呂雅之）

田無市の請願は、生活クラブ生協田無支部が百十人の署名を集めて九月、市議会に提出していた。

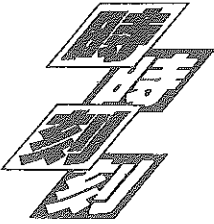
地方自治法では、議会は採択した請願を市当局がどのように処理したのか、その過程や結果の報告を求めることができると定められている。この法の趣旨を有効に活用すれば、今回の請願を通じて、市の環境保全に取り組む姿勢をチェックすることも可能になり、同支部のメンバーはその効果に期待している。

「熱帯林行動ネットワーク」（東京）によると、熱帯林保全に関する請願、陳

熱帯林の保全運動



伐採と山火事などで、見られなくなった熱帯林。インドネシア東カリマンタン州で、浜田哲二写す



日本の自治体及び腰

減計画が回答されたことはない、という。事務局長の西岡良夫さんは「田無市の請願採択は大きな前進といえる。だが、保全運動をリードしてきた「ウ・タン」森と生活を考える会（大阪）は特定以来、大阪府、市に各三回、要請書を提出しているが、熱帯木材の具体的な使用削減に動かない限り、期待は

「市民レベルの活動は広がりを見せ、六月には、非標準半学者による「熱帯林」の措置を取っている。アメリカでも条例制定の

「6割以上が

「不使用条例

「欧米で制定相次ぐ

「欧米での条例制定の実態調査によると、オランダでは自治体の六割以上が公共建築に熱帯木材を使用しない条例を制定しているが、または熱帯木材の不使用政策を採用。ドイツは約三

された。マレーシアなど熱帯林の乱伐が続く地域の法律家と連帯、そこで暮らす先住民の権利保護に取り組んだり、自治体に提案する「熱帯木材不使用条例案」づくりを進めている。

「法律家リーグ」などによる

「建築家の間でも熱帯林保全の動きが出ている。この十月、新日本建築家協会（約七千人）と米園建築家協会（約五万三千人）が共同声明を発表。省エネ工法

市民の請願 やつと採択 東京・田無市

の閉発を自招し、使用者の立場から保全への取り組みが立ちやく始動している。

「市民レベルの活動は広がりを見せ、六月には、非標準半学者による「熱帯林」の措置を取っている。アメリカでも条例制定の

「6割以上が

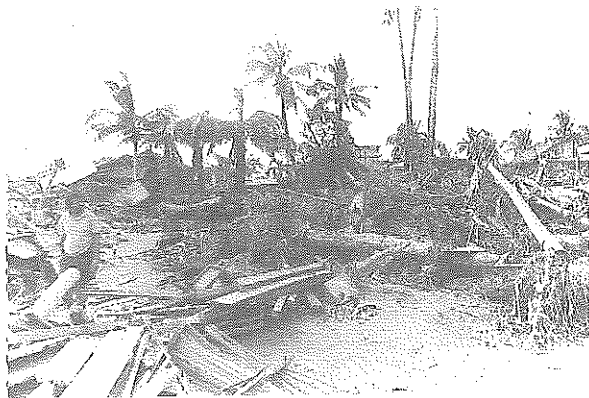
「不使用条例

「欧米で制定相次ぐ

「市民の請願 やつと採択 東京・田無市

「先住のリーダーはこのほど横浜市で開かれた国際熱帯木材機関（ITTO）の理事会に参加。この二年間で、伐採に抗議した先住民が六十五人も逮捕されたことを報告した。

ITTOの研究報告（八九）年には、サラワク州での熱帯木材の生産量は九〇年には九百二十万立方メートルに削減する必要性を指摘した。しかし、実際には八百八十万立方メートルに上って、史上最大の伐採量となり、来日した先住民リーダーたちは、日本の削減に対する努力不足を強く不満を表明した。



◆ 鉄砲水をかぶつ全壊した
アエラオ川流域の民家。
オルモック市で……
(大野 俊博撮影)

森を奪われたレイテの受難

緊急の救援カンパを！

〈担当〉奥村 知恵子

◎カンパの送り先◎

フィリピン情報センターナゴヤ

郵便振替 名古屋七二六七九〇

「レイテ島救援カンパ」と書いて下さい。

（NCPCCより）

去る十一月五日、フィリピン・レイテ島を襲った大型台風は、オルモック市と周辺地域で死者・行方不明六五〇名を越える大災害をもたらしました。現地から届いた情報では、泥流に襲われた市内は一面泥の海と化し、数え切れない人々が泥流とともに海に押し流され、無数の行方不明者は泥の中に埋まったまま掘り出すこともできず、市内のあちこちに収容を待つ遺体が散乱しているという、目も当てられない惨状です。現地では今、食糧と医薬品が一番不足し、被災者は二〇万人を越えると見られています。死者・行方不明者数といい、被害の規模といい、日本で戦後最大の被害をもたらした伊勢湾台風時の規模をはるかに上回っています。

一九六〇―七〇年代にフィリピン国内では多くの森林が伐採され、その大半が日本へ輸出されました。オルモック湾では近年、日本向けのエビの養殖が盛んになり、沿岸のマングローブ林が消滅しています。また、オルモックは太平洋戦争末期、レイテ決戦の際に日本軍の上陸作戦が行われ、日比米軍との間で死闘が繰り広げられた激戦地のひとつでもあるのです。私達の友人が未曾有の苦難に直面している今こそ、歴史的責任や、いろんな意味を含めて、私達にできることから始めようではありませんか。

十一月初頭、レイテ島水害のニュースに心を痛められた方も多かったと思います。

瞬く間に惨状と化したレイテ・オルモックの町並み。六〇%もあつた森林が伐採などによって、一九五二年には三〇%位に失われたからです。アジアの森を次々と奪い、繁栄を享受している日本。ウータンでも何か出来ることはないか、と救援カンパに賛同することになりました。ご協力願います！

救援の呼びかけは、フィリピン情報センター名古屋（NCPCC）です。NCPCCは、レイテ島のパサールに日本のODAで丸紅や三井金属鉱業、古河工業など日本企業がつつた銅精錬所公害輸出の反対に取り組んでいる団体です。NCPCCはオルモックの人々とも地道な連帯活動を続けてきました。



◆ 押し流されてきた民家の建材などる
うまるカトリック教会の礼拝堂。
オルモック市アグシラ地区を……
(大野俊博撮影)

全国熱帯林保護ネットワーク図

・ネットワーク・キャンペーン委員会資料より

(’91.12月現在)

←市民の動き

六月一日

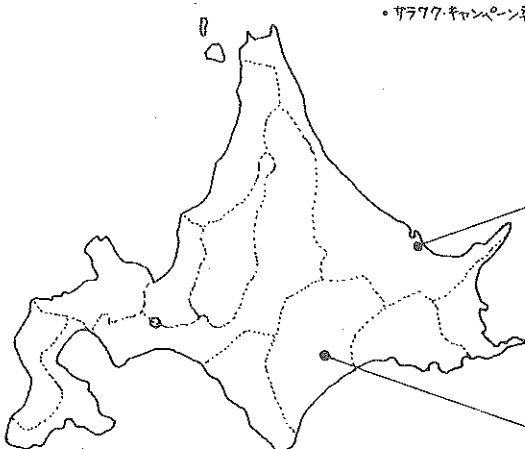
◆サラワクの先住民代表、ルーシー・ウロイが神奈川県

長洲知事を表敬訪問、熱帯木材の浪費をやめる政策づくりを囁願。また、熱帯林行動ネットワークとサラワク・キャンペーン委員会スタッフが同席、熱帯木材の

不使用条例制定などを申し入れる。
◆サラワクの先住民代表、ムジャン・リン新南市長を表敬訪問、熱帯木材の浪費をやめる政策づくりを訴える。

六月二日

◆ルーシー・ウロイが静岡県環境企画部長および静岡市



「ネットワーク・キャンペーン委員会 網走」
北海道網走市北7面4 清雲寮
三浦 誠司

帯広畜産大学・浅野奈緒子
機関紙「ひやくばい園のひやくしや」発行。
帯広市稲田町面2線7-79

「SOS!ネットワーク新潟の会」
新潟市葉竹4-21-26 コーポ3ビル102
高田和蔵 Tel.025-244-6314

「こぼれこぼれ」
長野県須崎市峰の原高原
ペンション 木暮元
Tel. 0268-74-2729

「いのちを守るネットワーク」
山形県酒田市泉町7-23
石黒文幸 Tel.0234-33-3823

「カタツムリ社」加藤哲夫
仙台市青葉区立町9-13
CATUMURI Tel.022-265-7868

◎「日本ボランティアセンター(JVC)」
東京都中央区湯島3-1-4
Tel.03-3834-2388
岩崎 駿介

- 「江戸川・生活者ネットワーク」 梁谷益美 Tel.Fax03-5605-3105
- 「町田・生活者ネットワーク」 Tel.0427-29-2296
- 「言問布・生活者ネットワーク」 Tel.0424-87-3087
- 「八王町・生活者ネットワーク」 Tel.0426-23-8802
- 「越谷市民ネットワーク」 生活者越谷センター内 Tel.0489-62-8052

「熱帯林の問題を考える市民の会」
群馬県桐生市梅田町3-23-31
金岡木里子 Tel.0277-32-0605

「SOS!熱帯林埼玉7ル-7」
埼玉県越谷市入房729-3
シャルムA210
蒲井久美子 Tel.0489-77-7570

「JATAN 静岡」
静岡県神田町25
望月敏子 Tel.054-254-2813

「JATAN 静岡」
静岡県神田町25
望月敏子 Tel.054-254-2813

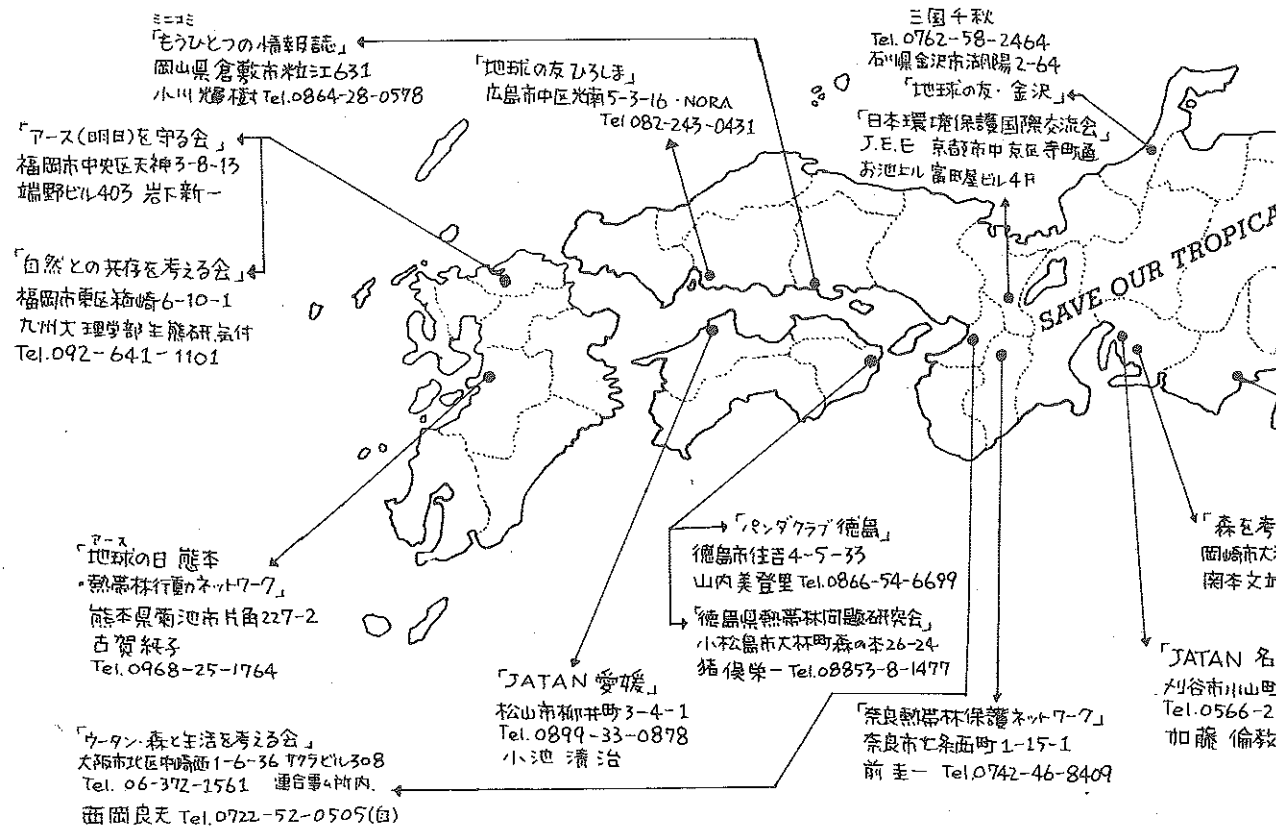
「JATAN 静岡」
静岡県神田町25
望月敏子 Tel.054-254-2813

- 「JATAN・熱帯林行動ネットワーク」 渋谷区鶯谷町7-1-801
Tel.03-3770-6308
(住所は同じ)
Tel.03-3770-6709
- 「地球を緑にする実行委員会」 江戸川区東葛西1-5-1-502
Tel.03-3680-9766
- 「金曜連続講座・熱帯林行動」 新橋区岩戸町10 松本ビル305
Tel.03-32668605 国際経済研
- 「田無市のみちを考える会」(本文3P参照)
- 「AFPE・平和と環境を考える建築家」 杉並区下井草5-16-9
林 昭男
- 「熱帯林保護法律家リーグ」 JARPLL 品川区東五反田1-9-10 袖野ビル五反田L.O
千葉 恒久

(お預い) 個人のお宅にTelを入れる時はあまり遅くならないように気を付けて下さい! ←フレフレエデュイ!

- 六月九日
 - 奈良県の市民グループ「奈良熱帯林保護ネットワーク」が大和郡山田市長に熱帯木材不使用宣言を行おう求めた要望書を提出。大和郡山田の阪東市長は「関係部門に調査をさせ、検討したい」と返答。
- 六月六日
 - ムジカンが大板府知事に熱帯木材の消費をやめる政策づくりなどを訴える。
 - ルイシーが広島市長を表敬訪問。熱帯木材の消費をやめる政策づくりなどを訴える。
- 六月七日
 - ルイシーが松山市助役と会見。熱帯木材の消費をやめる政策づくりなどを訴える。
 - ムジカンが福岡市長、福岡県知事を表敬訪問。熱帯木材の消費をやめる政策づくりなどを訴える。
- 六月八日
 - ルイシーが普通寺市長を表敬訪問。熱帯木材の消費をやめるよう訴える。
- 六月二〇日
 - 福岡市議会が日本政府あてに熱帯木材の消費抑制政策を推進するように要請。
- 六月二四日
 - 江戸川区の市民団体「地球を緑にする実行委員会」が公共建築物に熱帯材を使用しないなどを陳情した署名(950名分)を江戸川区に提出。
- 六月二九日
 - 新潟市議会議員中田征二氏が新潟市の発生する建築工事に熱帯木材合板によるコンパネを使用しないことを工事発注にあたって条件とすることを提案。長谷川新潟市長が「市としても関係団体に啓蒙するなどいろいろ検討したい」と返答。
- 七月四日
 - 東京都議会議員大久保氏が東京都が行う公共事業や公共施設の建設における発注の要領や仕様書の中に熱帯材の使用削減などの条件を取り入れることを提案。東京都は「地球環境問題連絡会議の場を通じて調査研究を進めている」と返答。
- 七月八日
 - 東京都議会議員石井義徳氏が東京都議会の都市計画環境保全委員会にて東京都の熱帯材使用削減方針について質問。東京都は「民間への指導、東京都の発注工事、削減目標などすべて検討中」と回答。
- 七月二二日
 - 大阪の市民団体「ウイタン」が、五月二四日に大阪府と市の首長および議員を対象に熱帯材問題に関する意識調査を行った結果を記者会見で発表。
- 七月十四日
 - 熱帯材保護を目的とした市民グループ「熱帯材行動ネットワーク・愛媛」が設立される。
- 八月一日
 - 「ウイタン」が大阪府に市の熱帯材使用量などについて質問状を提出。
- 八月二九日
 - 新潟の市民団体「SOS! サラワク・新潟の会」が新潟県内の公共事業で熱帯材の使用を禁止することなどを県土木本部に申し入れる。
- 九月十日
 - 「ウイタン」が大阪府に対しコンパネの転用回数や代替品の使用を求めて交渉。
- 九月二日
 - 東京都議会議員三井マリ子氏が都議会にて熱帯材使用削減を目的とした予算をくも考えがあるかどうかなどを質問。
- 九月二三日
 - 「ウイタン」が大阪府の自民、社会、公明、共産の各党に府議会が国に対して熱帯材消費削減の意見書を提出するように陳情。
- 九月一九日
 - 横浜市議会議員皆川氏が市議会にて公共の建築物の発注に際してコンクリート型枠に熱帯材を使用しないあるいは削減することを条件とすることが可能か質問。
- 九月二六日
 - 京都府議会議員角野豊氏が議会で一般質問。京都府が発注し又は関与する全ての建築・土木工事におけるコンパネについて、百パーセント熱帯材を用いたコンパネの使用や複合板などの使用についても反復使用に努めることなどを提案。府知事と土木建築部長によると「今とわけて、新しい或いは特別な施策に取り組むつもりはない」と回答。
- 一〇月二九日
 - 熱帯材行動ネットワークが一〇月一八日に東京都が出した熱帯材使用削減の方針は、具体性に欠け十分であると申し入れる。熱帯材の消費削減など求めた署名を提出。

以上には載せることできなかった市民による自治体への働きかけがあることをここに断りします。



日本の森から①

連続
2回

熊野から

その1

中村 義明
Yoshiki N

私たちがここ熊野の山里に移り住んで二年半余りになります。私たちは40才で結婚し、すぐに山での暮らしに入りました。次の年に生まれに息子は今、1才8ヶ月です。

私たちの住居は町から借りた小さな小学校の廃校です。

校庭の大きなイチョウが今、黄色く色付いて葉を落としていきます。60年余りになる校舎は古くても骨組みはまだしっかりしていて昨年の19号台風にも持ちこたえています。

一つの教室をワンルームで生活の場として使っています。

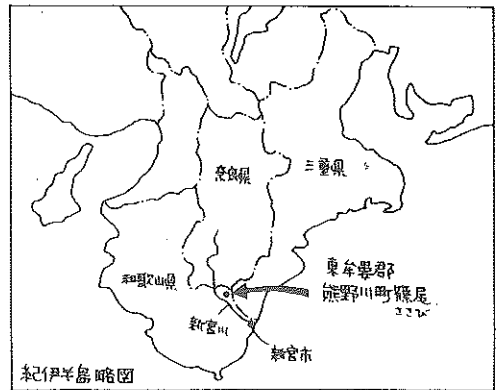
夏は涼しく快適です。

冬は薪ストーブと豆炭でたつて暖房しています。照明はランプで補助的に電気スタンドを使っています。

ランプは山小屋で使うための、こちらでは「金物屋」で売っています。ランプの灯りは暖かく柔らぐで必要以上に照らし出すことがないので心がゆったりと和んできます。

炊事には、調理用薪ストーブを使っています。子供が生まれてからはプロパンコンロを使っています。

食事は、玄米と豆腐と煮汁を基本にして、あと野菜や海藻などが加わり、時々魚や乳製品や卵なども食卓に上ります。



都会暮らしの頃はストレス発散のためにグルメを求めたりもしましたが、こちらでは自分たちで作った取りたこの野菜などがおいしくてグルメを追求する必要が段々無くなりました。素味を活かした簡単な料理が体にも心にも良いようです。村の人たちの食事もとても質素なものです。

こちらへ来て始めた米作りも今年を三回目。まだ一年分を賄うまでにはいきませんが、来年こそはと意気込んでいます。

米作りも、野菜作りも見よう見まね、手さぐり足さぐり。でも無農薬有機栽培での自給自足を目標して、しんどくても楽しんでやっています。

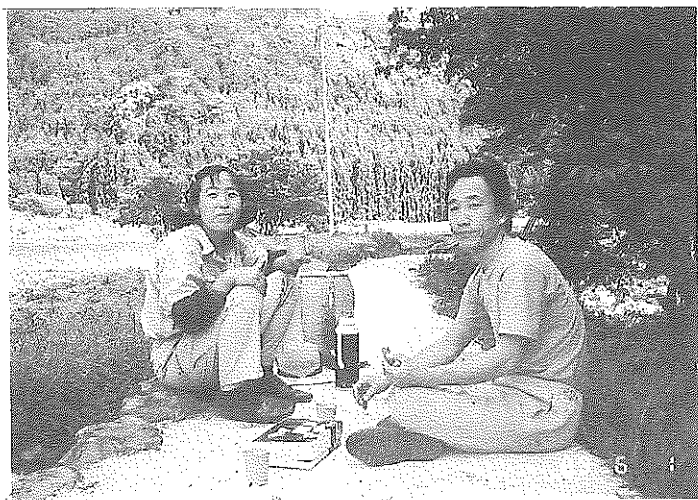
我家では雌山羊を二頭飼っています。昔は山村ではよく山羊が飼われていたそうですが、今ではごく稀です。

輸入の穀物飼料などを与えず、草や木の葉を食べている我家の山羊の乳は安心して飲めます。

息子も搾りたての山羊の乳を飲んで育ちました。自分で米や野菜を作り、山羊や鶏を飼っている、自然が放射能や様々な化学物質に汚染されることなく、いつまでも安心して食物が食べられることを願わずにはおられません。

① * 和歌山県東牟婁郡熊野山町

▲農作業の合間のひと休みをほろ多加きさん



私たちの部屋には
今、テレビはあり
ません。
時折ラジオを聞い
たり新聞を読み程
度です。
都会にいた時のよ
うに情報を頭が一
杯という状態から
離れることも楽
です。
本当に必要な情
報というものはそ
んなに多くはない
でしょう。

山で簡素な暮らしをしていると際限なく物を求め続けていく都
会での生き方が何とも奇妙に思えてしまいます。
この地球というかけがえのない星の上で物質的欲望や金銭的
利益を満たすために自然を汚染し破壊することは、もう止め
たいと思います。

(次号につづく)



▲中村さんたちの藤野藤枝会、4つの教室がある。中はひろびろとしてとても気持ちいい。

●中村さんはここに居るまでに、北海道での酪農、小豆島の
ログビルダー(ログハウス作り)、家具作りといろいろな経験をへて
今の生活に落ちついたのです。次号では山の仕事のことをも
てますので、乞うご期待！



『今年の夏はいろいろ考えました。』

加賀瀬みどり

はじめまして。私は長野県に住んでいる主婦で、三児の母です。熱帯林の保護運動に頭をつっこんだのは良いが、何をしたらいいのかわからないでいました。たまたま会合で知り合ったウータンの西岡さんに「長野県の林業関係者と会合をもちたいので、たのんます。」と頼み込まれて企画した交流会が、私の初仕事になりました。

①山梨県長坂町での交流会

長坂町は八ヶ岳の南麓。清里の近くです。

私の古い友人で有機農業をいとなむ三井和夫さん宅で、三井さんの友人たち、静岡JATANAの望月さん、鳥居さんなど合計十七名ほどで会合をもちました。ウータンの奥村さんの持参したビデオを見たあと「開発もある程度必要ではないか」とか「先住民たちは文明化することを希望しているのではないか」といった質問が出ました。それに対して、奥村さんのほうから、「伐採でえられた外貨はほとんどが大臣やその一族の懐に入ってしまった。先住民とくにプナン族は森の中を移動して生活しているため、伐採を進める側にとってはじゃまな存在で、彼らを一カ所に定住させる製作用をとっているのだが、彼らには農耕の知識がなく、また無責任な定住政策で食べ物にも事欠くばかりか、自分たちの文明・アイデンティティーをも奪い取られている」という説明がされました。

特に心に残ったのは「私たちは私たちの生活様式を文明だと思って他に押しつけようとするが、ジャンゲルの中かで生きる知恵や知識もまた文明なのだ。私たちの価値観を押しつけてはいけない」という発言でした。

日本から出たこともなく、本や新聞からの知識しかない私にとって、奥村さんたちの現地にいって肌で感じた見聞は本当に「新鮮」でした。

②長野県南佐久郡南牧村での交流会

翌日、長坂町から車で一時間ほどの野辺山高原で林業をいとなむ有坂さんと南牧村の人たち五名、こちらは奥村・加賀瀬・静岡JATANAの二人合計九名で会合を開きました。主に長野県の林業の現状についてお話いただきました。

南牧村のとなりに川上村があります。昭和三十年代、日本全国に大量のカラマツが植えられました。それはカラマツが成長が早く、電柱や杭など用途が多かったからです。そのカラマツの苗を全国に出荷したのが川上村なんだそうです。昭和三十年代は台風などの災害が多くて、風倒木さえ高く売れ、「林業の黄金時代」だったそうです。けれど、その後は、輸入材に押される、カラマツの用途がなくなる、若者は都会に出る、といった風で、林業はすたれ、今はどちらの村も高原野菜の栽培に切りかえ、キャベツ、レタスの一大産地として小学校の教科書にも載るほどです。

現在、その時大量に植えられたカラマツの収穫期にき

たのですが、林の下刈り、間伐、伐採などの作業をする人がいないのだそうです。都会でも3Kは嫌われますが、その上、第一次産業に従事することを「はずかしい」と思う風潮があるのだそうです。「村役」「山役」などと呼ばれる年2回の共同作業で、かろうじて手入れをしているのですが、作業者の平均年齢は六十歳をこえておりおそらくあと十年後には全く山仕事をする人がいなくなるだろう、ということです。

「国内の林業が盛り返せば、熱帯林保護運動にとってもすごく有利だ」と簡単に考えていたのが、とてもそんな状況ではないようです。「なんとかならんものでしょうか」と泣きたいような思いで聞きましたが、「川上のごとは川下になんとかしてもらおうしかない」というのが出席された村の人の本音のようでした。

③八月二十五日、小諸市の隣、北御牧村の中学校で、サラワク・キャンペーン委員会のスタッフを招いて講演会を開きました。(私もけっこう暗躍していますね、こうしてみると)その時の交流会で、役所の土木課の人といろいろ話をしている。「先日林業関係の人と会合をして、これこれこんなわけで、とてもだめだと言われたけど、どう思いますか」と聞いたところ、「いや、おれは、人は集まると思うよ」というのです。「仕事っていうのは食っていく手段だ。林業で飯がくえりゃ、必ず人は集まる」

この北御牧中学の講演会はサラワク・キャンペーンのおかげでとても良いものになりましたが、その話はまた後ほど。

この夏のいろいろな出来事やら人の話などを頭のなかで何度も反すうしたり考えたりして、二カ月近くになつてしまいました。(わたしはいわゆるけいこうとうとうという人種です)それで、まだまだ希望を捨てないことにしました。これからの予定ですが、県の林業課とか林産課などへいって話を聞いてみようかと思っています。県のほうもカラマツの需要を増やそうと賢明のようです。カラマツを使った合板や、集合材を使った建築も増えています。また面白い話が聞いたらお知らせします。

では又 再見!



(長野県埴科郡戸倉町上戸熊徳間 TEL2 533108)

▲世界の森から③——オーストラリア・タスマニア島 ▲

タスマニアの森が危ない!

「世界最大の温帯雨林」

井下祥子(ワタナベ)

Woody Hutという、おもしろい喫茶店がある。

英語だけが使用可、「日本語を使うと10円の罰金」という張金が出ている。(もちろん英語で)

ちゃんと日本人用リラックス席があり、そのみ日本語が使える。ここで、タスマニアの話が聞けると聞いて出づけていった。(場所は地下鉄田橋線「本町」出口28)

「パルプ&ペーパーカンパニー」のジュリア・レイバースさんのお話とビデオ。

……タスマニアは北海道くらいの大ささの島で、一億五千万年前(ゴンドワナ大陸の一部だったとき)からの森林がある。

同じ森がアマゾンにもある。

この森は、世界最大の温帯雨林だが、伐採されようとしている。ユーカリ林のほうは、90%がすでに伐採されてしまった。が、政府は残りの10%も伐採しようとしている。

そのうちの80%が木材、チップになる予定だ。年間6000ha伐採し、年間3000万tが日本にチップとして輸入されている。

多国企業は、何も陸曹(環境保護団体)がない。」という保証



を手に入れてから、重業を始める。タスマニアは第三世界と、状況が似ている。

政府は伐採木材1tあたり15ドルを得ているが、利益より道路整備などの出費が上回り、30年向伐採していきながら、大きな負債を抱えている。又、若年層の失業率も25%にもなっている。

このように、伐採は利益をもたらさない。

70年代からは、皆伐してその後焼き払う方式になった。生物の保護はなされていない。

(タスマニアデビル、カモノハシなど、希少種がいる。)

土地は政府の所有で企業に売り渡されたり、無料で譲渡されたりしている。それを取り戻そうとすれば、多額の金を支払わねばならない。

Q .. 植林は企業か?

A .. 単一の外来種を植えている。育つ速度が早く、木材になるものを植えるので、元の森林を復元するのは難しい。又、最近では急斜面での伐採が土壌流をひきおこしている。

Q .. 企業名を聞きたい。

A .. 伐採はオーストラリア企業だが、ほとんど日本が輸入している。十條製紙、大昭和製紙、三菱など。

このあと、上の漂白にもういる塩素系漂白剤のお話についてのお話があった。

ダイオキシンで有名な有機塩素は、紙の漂白、ドライクリーニング、水の消毒、農薬、除草剤などに用いられている。

PCB、ダイオキシン他、何千種類もある。

カネミ油症を起こしたPCBは、18摂取すると、0.58排出するのに20年かかる。

有機塩素は発ガン、障害児、流産、神経致死その他の原因となる。東京湾のボラから多量のダイオキシンが発見された。

製紙会社は93年から自主規制を始め、21世紀には、有機塩素をなくすとしているが、それでは遅すぎる。

スペインなどでは、すでに有機塩素を使わず、過酸化水素などによる漂白を実施している。

「有機塩素」についての資料は、東京の「地球の友」にある。

再生紙は中部サイクルで扱っている。(Tel.05221931133004)

ダイオキシン (dioxin) — ベトナム戦争で米軍が使用して、奇形児誕生の原因となり、枯葉剤を知られる化学物質で、ポリ塩化ジベンゾフランなどとともに、自然界にあつてはならない猛毒である。人類が作った最悪の毒物ともいわれ、偶然によって生まれた物質。ダイオキシンとして知られているものは、2,3,7,8-TCDF(四塩化ダイオキシン)で最も毒性が強く、催奇形性・発ガン性がある。

なんでも紹介

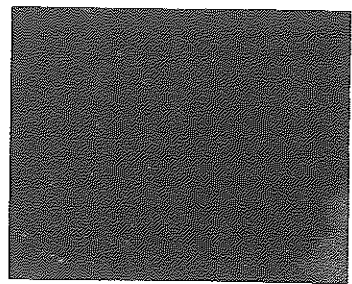
みんな出て来、せーのー

ガムラン音楽から始まるこのCDはアコースティックな音とシンセサイザーをとりまぜてつくられています。「サ-ラン」の編纂をしている私をジャングルの中に連れていってくれました。とてもこころよい。3曲目のDrum Songがいい。一度聞いてみてはばどないでっか!!

ROBERT RICH RAIN FOREST

「熱帯雨林」ロバート・リッチ ●CRCF-1003 ●¥2500.

ROBERT RICH RAIN FOREST



Hearts of Space

突然ノ「会費納入・カンパ」 どうもありがとうございました。 (H.L.T.A.N.)

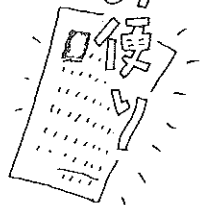
〈敬称を略させていただきます〉

- 田辺知子、伊藤初美、助友伸子、今村重彦、牛田繁、一鷹要市、足立師雄、瀧口俊夫、山内美登利、藤井清、向井千晃、稲垣三千穂、梅尾文子、北阪英一、下出益世、富崎正人、市東弘光、康由美、笠原英俊、杉山慎二、にっぽんこどものじゅんぐる、阪井誠、南方道林協会、松井義子、山崎卓也、Rアレキサンダー、坪井里江、サリースティブンス、矢花公平、大西裕子、小内小夜子、池内夕子、西岡良夫、永田健一、平井英司、藤岡正雄、横田健一、松本剛一、山口八千代、水原博子、山田勝美、野村令子、伊藤哲男、田中順子、面谷陽子、面村理子、宮内寿子、駒井史子、田中優、神前進一、浅野かおり、中院彰子、平井一樹、小堀直子、興村知亜子

ウータンに届いたお便り

THANK YOU!

※皆さんのお便りほんまにおおきにです。
この声でわたしたちは「おん」になっていきます。感謝!!



●くわしい会報を何度か送って下さりありがとうございます。
先日韓国へ行って、在韓被爆者の方々のお話を聞くことができた。「戦争責任」「戦後責任」とも果たされないうままの46年間に、言葉を失うような思いがしました。お元気で。

(京都市左京区 山崎卓也)

●ウータンの皆様いつも大変でしょう。うけれどがんばって下さい。私達マジア子供基金の方も、大変ながら必死でやっています。いつか協力出来ることがあれば共に手をとりて歩みたいですね。

(大阪市天王寺区 稲垣三千穂)

●熱いメッセージ/感じ入りました。ありがとうございます。どこもここも財政困難のなか、心算がつかない仲間がいるというのは、本当にうれいことだ。我家の隣に空地があって、大きな木々に四季の鳥や虫が季節を察しませてくれているので、レストラン建設となって、あつけなく伐採されてしまいました。交渉してろ本は残してもらったのですが……。

(兵庫県芦屋市 加賀希子)

●大変なごくろうをされつつのお働き、ほんとにありがとうございます。ごいます。会員にはなれませんができるだけカンパを送ります。いくつかの会員ですが、私もいつまで続けられるかわかりませんので……今の役割も若い人にバトンタッチしつづけます。

(大阪府吹田市 松井義子)

「川柳」

廃棄物の野焼 日本の死斑なり
炎天下 廃棄の鉄の死臭かな

漁火の海に 原発の灯はいらぬもの
原発はいらず 地球はワンルーム

蕨ついて正に蛇だす クリーターかな
世の中で 変らぬものほうさき小屋

うさぎ小屋 更にくるしや熱帯夜
うさぎ小屋に 住んで長生きしたくなし

人数は明日なし 日本は長寿国

ふと目ざの奴隷にかえるうさぎ小屋

永田町こそ必要なペレストロイカ

団結をすれば 戦車もこわくなし

人類は地球自爆の在樹人

(大阪府河内長野市 北阪英一)

がんばって下さい。
●いつも「誰がこんなことやってんだろう？」と思うような内容のびっしりとつまった会報ありがとうございます。2年もやってまだ新聞1回出すのザヤッとの私達とはえらい違いだと感じするやうな自信をなくすやう……私達の「にっぽん」どもの

じゅんぐる」はキャラクターなので、ちよつと他のグループとは違うように思います。とはいえ始のてしまつたからにはなんとかせねばと細々と続けるつもりであります。今は、中米ユスターカカの保護をしていますが、次はタイにと今、調査中です。

私達の場合には子供がらみなのですが、うまくわれればもつという

いろいろやるのにはないかと、ない知恵をしぼることにします。

それではどうもありがとうございます。(長野県 福永一美)

(長野県 福永一美)

熱帯森林保護団体
THE RAINFOREST FOUNDATION JAPAN

〒150 東京都渋谷区猿樂町2-7 ヲクスビル402号
TEL.03-3477-2589 FAX.03-3477-0966

NETWORKS ④

熱帯森林保護団体(RFFJ)は、89年5月R.F.F.J.の日本支部として設立され現在50人の会員をもつ日本で唯一のアマゾン熱帯森林保護真向の団体としてボランティアによる活動を行っています。

RFFJ (RAINFOREST FOUNDATION INTERNATIONAL)のメンバーは、ゴビエイギリスのロックシンガー・スティングがアマゾン・カヤポ族ラオニ酋長と協力して創った世界組織です。RFFJの主な目的はシングリ流域クベンコクレ地区に18万km²(日本の約半分)のインディオパークを設立すること、熱帯森林保護のための研究、教育支援、世界的な活動推進、先住民の人権保護、その他アマゾンで起こる緊急事態への対応などがある。

一方、日本支部であるRFFJでは明るくわかりやすくモットーに従来の市民活動にありがちなクライ・カタイ、対立的なイメージを脱した誰もが参加できる活動の場やアイデアを提供しています。スタンピングが提唱したというバックグラウンドを主として従来にはなかったポップな環境保護活動を行っています。たとえば、シンポジウムで真面目な環境保護活動のタブーを犯して会場をサンベミニコンサート付き、しかもビールまで販売するなど奇抜なアイデアをかんぱっています。一度のぞいてみて下さい。



コレラはブラジル奥地の先住民の間でも猛威を奮っています。

ブラジル北西部、ペルーとの国境地帯にあたるアクレ、ソリモエス、ジャバリ地区は、主要都市から隔たったアマゾンの森林地帯であり、先住民が数多く居留しています。昨年以來ペルーで猛威を奮ってきた悪性コレラが今、この地域一帯に広がっています。ペルーに源流を持つ河川の水がコレラ菌に汚染されているため、これらの川から生活用水全般を得ている住民が多数感染しているのです。しかし、これまで先住民のための医療施設が全くなかったうえに、今回のコレラのような緊急事態にも殆ど政府、都市部の諸機関は対策に乗り出していない。こうしたことから、かなりの先住民が死亡し、いくつかの部族では壊滅状態になっているにもかかわらず、ブラジル全体の感染者の統計にはその実態は反映されていません。

WHO報告によるとブラジルではまだ死者は報告されていませんが、ペルーでは、コレラ患者数および入院者数併せて31万人、死亡者数2163人(1991年1月~7月)に昇っています。現地の公衆衛生担当官は「コレラは南米に無かったが今後十年から十五年はこの周辺にはびこり、流行を繰り返すことになるだろう」(読売新聞1991.9.16)とぶり返しを深刻に予測しています。

最近になり、民間団体(NGO)が任力をかけ、ようやく政府が動き始めたことは事実ですが、汚染された村を移動することも必要物資を調達することもできていません。現地ではNGOが医療活動に携り、政府に行動提案をしたり必要物資を村に運んでいます。既に資金は初めの段階から底をついています。また、適切な医療施設や専門家の不足も問題です。

レインフォレスト財団ブラジル協会(FMV)は、上記の活動を率先して呼び掛け、民間団体の中心となり6月から「コレラから地域住民を守るアクション」を開始しました。医師派遣、物資調達、財源確保の他、政府の取るべき対策の検討、正しい情報の伝達、国内外の世論への種々の働き掛けなどに取り組んでいます。しかしペルー・ブラジル両国が政府レベルでの本格的な対策に出ないかぎり国境を挟んだ問題は解決されず、不十分な状況の中で現地の医療活動は難航しています。いかなる理由であれ救援活動は継続されなければならず、その財源確保が、急がれています。

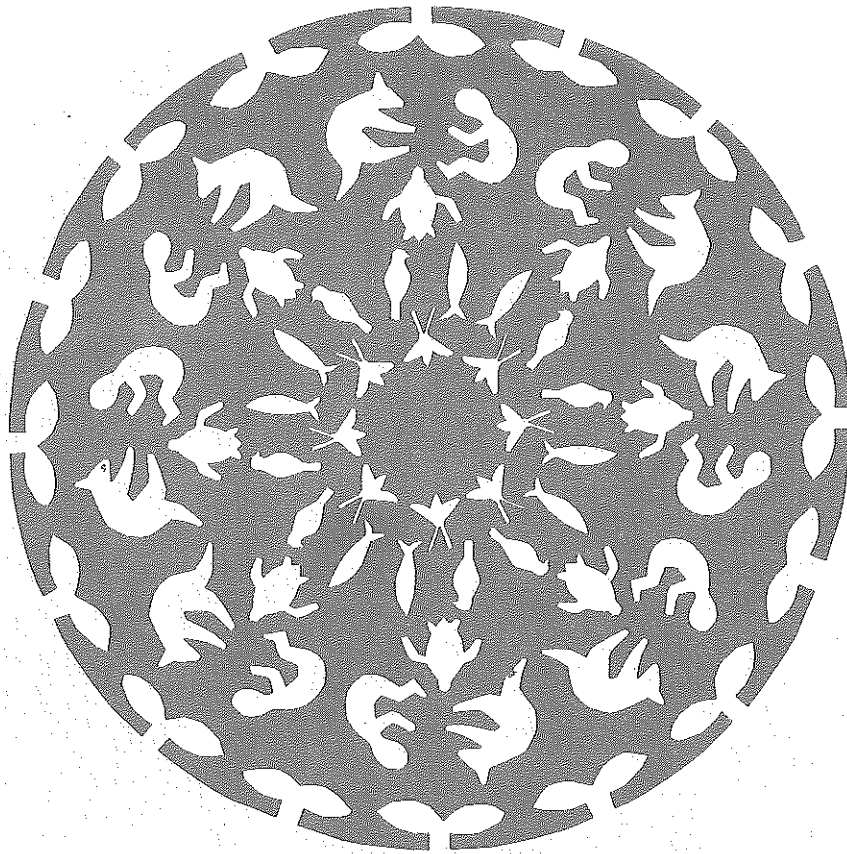
レインフォレスト財団日本協会では、ブラジル協会から要請を受け、緊急に「コレラ基金」を開設しました。

アマゾンは日本の裏側ですが、決して遠い国ではありません。おおくの方々のご理解と基金への賛同、ご協力を呼び掛けています。



コレラ対策基金
にご協力をお願いします
加入者番号: 東京4-144187
加入者名: 熱帯森林保護団体
*コレラ基金と明記して下さい。

*RFFJはニューヨークに本部を置き、フランス・イギリス・ドイツ・アメリカ・ブラジルなど10ヶ国に支部をもつ。



HUTAN
 ART
 GALLERY
 ウータン・アート・ギャラリー



シェンがツケンはしきみえないので、
 利用するとしが考えないのでしょうか。
 ゾウもワジも水も土も植物も
 ただのシェンだとはおもいません。



● 吉田 健司さん（京都市、在住・デザイナー）「ホニョウ類、ハ虫類、鳥、魚、昆虫、絵には
 はいっていないけど、その他の生き物がバランスよく生きている地球です。ほんとうは我々の方
 が、植物にまもられているんだらうなとおもいます。」

※ 今号から始まりました「ウータン・アート・ギャラリー」です。
 音楽だけでなく、視覚と感性で訴える1つの方法です。教とは思わぬたら送、て下さい。(永田)

HUTAN ACTION SCHEDULE!

JANUARY

1. 11 (土)

「Ever So Busy」毎度 「ウータン」新年会

きてね〜！
ホイホイ

「ワイワイ、ガヤガヤとぶざかしいこと」スキで
今更にもういっつう、またか！とほろろ、というこ
とにまよって、あしやす、連絡必至！
①「きじみなるめ」面談区鶴見橋1丁目15-17
Tel. 06-6646-0358
②(地下鉄四つ橋線下花園駅下車10分ほど)
③6時〜9時 ④参加費500円です。

⑤参加の方は、永田まで1月9日までに連絡を！
Tel. 072081-4934 (Fax)

1. 15 (水)

祝

①「南苑と環境問題」
講師・宇井純、古賀賢次、杉野二郎氏
②大府国際交流センター(大府上本町)
③2000円(昼食付) ④9:30〜16:30

FEBRUARY

2. 15 (土)

16~15 (日)

①「援助を向う」
講師・松井竹より、若狭恵一氏他
②関西セミナーハウス(京都左京区)
③6:30PM〜翌4:00PMまで
④2500〜7000円(泊2(食行))

⑤関西NCO大学等へ届 若田さんまで……
Tel. 075(711)2115 セミナーハウス内

1992 NEW YEAR

カンパ ああきり!

◎会計から御礼◎

前回のカンパの呼びかけに、すぐさま
多くの方が入金して下さい、大変感謝し
ました。

会費やカンパ、切手などに暖かい言葉を
添えて送っていただき、ウータン・ス
タッフ一同はとても励まされています。
ありがとうございます。

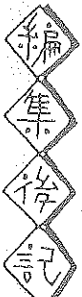
(会計・奥村知恵子)

●91年春から始めた「熱帯不材不使用道具
顧署名」現在まで大府分タテ1名です。

御協力ありがとうございます。政府宛
はウータン委員会へ、大府宛は92年2
月に大府府議会へ請願、要請として提出
する予定であります。

- サラワク署名とカンパ(カンパは三万円渡しました)
- (カンパ)山田雅美、肩利勝、向井千晃、星原より、
- 佐々木幸恵、佐原浩志、田中一巳、大川早苗江、
- 中嶋秀昭、木村有香さんほか
- (署名)上村左知子、上田篤司、上宮田玲子、永田
- 加代、大木章、石橋あけみ、大山潤子、加島智子、
- 馬場和美、中岡三津子、吉崎直人、岡村由香、坂本
- 史雄、東紀子、亀田早恵、津田和宏、前原み、
- 坂本保子、前川明宏、藤村はるえ、三好知恵美、
- 武田美佐夫、龍田和世さんほか九二名。有難う

HUTAN



●8月に21号を出してあ……と
いう向に4ヶ月、年に6回は発行し
ようがんばって参りましたがもう年
末です。今号も編集があと少しで
終わりという時に「田無市」のグッドニ
ースでページのさし替え、そのうえ
風邪をひいてしまい、頭がうまく働
かず、ウリスマス前の発行とあいな
りました。今年1年「ウータン」
を読んでいただきありがとうございました。
92年もよろしくうにたの
みます。それでは皆様よいお
年をおむかえ下さい。



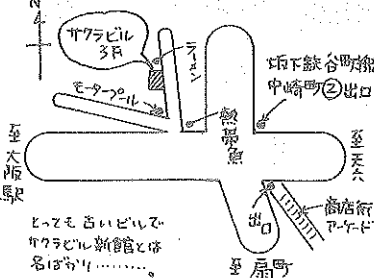
●ウータン定

例会は弊之、
第4火曜日午
後7時より

自然連合事務
所にて行って
あります。

Tel. 06-372-1561 まで

ウータン事務所



PRINTING